

沼田・西部育苗センター

令和7年度産米の苗作り始まる

沼田・西部の両水稻育苗センターでは4月上旬より、「コシヒカリ」を中心とした水稻苗の種まき作業を始めました。1月下旬から3月上旬に温湯消毒した種子もみ約19トンを、播種（はしゅ）機を使って育苗箱にまきます。今年度は両センターで約13万1千箱の種まきが行われました。

芽出しが済んだ苗をハウスに移す展開作業では、多くの人手が必要となるため、他部署の職員も応援体制を組んで早朝から作業に励みました。利根沼田地区の良質な米作りを支えるため、職員一丸となり徹底した苗の管理に努めています。



播種機による種まき作業



ハウスへの展開作業を行う職員

JA利根沼田フキ部会

出荷最盛期に備えて

JA利根沼田フキ部会は4月8日、南部支店で統一目ぞろえ会を開き、部会員やJA担当者、市場関係者ら29人が参加しました。市場関係者は市場情勢を報告。また金子部会長によるラップ巻きの実演や病害虫対策の講習も行われ最盛期に備えました。今年度のお荷は4月上旬から始まり中旬から下旬にかけてピークを迎え、5月いっぱいまで続く予定です。



ラップ巻きの指導をする金子部会長（右）

JA利根沼田×群馬県警

園児が交通ルールを学ぶ

4月18日、かわば森のこども園で交通安全教室を開きました。3～5歳児の園児50人が参加し、横断歩道の正しい渡り方や交通安全について学びました。園庭で行われた横断歩道を渡る練習の他、パトカーと白バイの見学や乗車体験もあり、園児たちは貴重な体験を楽しみました。



横断歩道の渡り方を練習する園児

JA利根沼田こめ生産部会通常総会

JA米の栽培に向けて

JA利根沼田こめ生産部会は3月19日、本店で令和6年度通常総会を開きました。部会員や関係者ら46人が参加し、全ての議案が承認されました。総会終了後には、米をめぐる情勢についての説明や、利根沼田農業事務所の渡恒喜技師を講師にカメムシ対策と春先の管理作業について講習が行われ、来作に備えました。



講習を受ける部会員

JA利根沼田×沼田警察署

詐欺防止に向け注意喚起行う

4月15日の年金支給日に合わせて、沼田支店のATMで振込犯罪などの特殊詐欺への注意喚起を行うイベントを実施しました。沼田警察署の警察官と防犯ボランティアの方が参加し、利用者に注意喚起のチラシとエコバックを手渡ししながら特殊詐欺への注意を促しました。



ATM前で注意喚起